

令和7年度 都立大島高校における教科指導の重点

| 教科 | 重点課題 | 取組 | 発展的取組 |
|-------------|--|---|--|
| 国語 | 語彙力と表現力を高め、国語を的確に理解し表現できる力の育成 | ・「学び直し」教材を用いた基礎学力向上の取り組み、学習の姿勢作りの実施 ・すべての授業で毎回「書くこと」についての活動を実施 | 応用的な教材を用いた、思考力・判断力・表現力の育成 |
| 社会 | 基礎基本的な知識の習得につとめるとともに、多面的・多角的なものの見方を養う。 | 授業を通じて、基礎基本的な事項の学習・拡充を図る。 | 生徒が自分の意見を表明する機会を設定し、学んだ事項に対する意見を論理的に説明しようとする姿勢を作りを行う。 |
| 数学 | 基礎基本を徹底し、考え方を働かせた数学的活動 | 教材を用いてつまづきを発見し、基礎的な計算能力の向上させ、学習への姿勢作りを行う。 | 問題解決の過程において、論理的に考察する力を育成する。 |
| 理科 | 科学的に探究する力を高める指導 | 観察・実験の結果をもとに考察・推論するパフォーマンステストを実施 | 学期単位で課題研究を行い、成果をまとめる授業を実施 |
| 保健体育 | 健康に関する基礎基本的な知識理解を深める指導 | 健康に関する知識理解を深め、日常生活で活用できるよう姿勢作りを行う。 | 生徒が考え、思考・判断・表現できる機会を多く設定し、自身の健康に目を向け実践する力を育成する。 |
| 芸術 (美術) | 自己表現の追求 | 生徒主体の作品制作を実施 | 作品制作の過程を振り返って考察を深めたり、主体的に学習に向かう態度の評価を取り入れた授業の実施 |
| 外国語 (英語) | 基礎・基本的な表現の理解と定着 | 基礎的な語彙や表現への取り組み、学び直し教材を用いながら学習への姿勢作り、ペアワークや一人一台端末を使用した言語活動等の実施 | 日常的な話題や文化背景等の知識を深め、自らの気持ちや考えを伝えられる力を育成。対話練習やオンライン英会話等を取り入れた授業の実施 |
| 家庭 | 生活に必要な知識の探究 | 体験を重視した授業の実施 | 実習の過程を振り返って考察を深めたり、主体的に学習に向かう態度の評価を取り入れた授業の実施 |
| 情報 | 「問題の発見・解決」につなげる実習の充実 | ・文書作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの使い方を教えるだけでなく、それらを問題の発見・解決のために使えるようにする。 ・民間補助教材を導入し、問題解決を題材とした実習教材を導入する。 | ・グループによる探究的な実習を実施する。 ・プログラミングを用いて、生徒の発想から仕組みをつくる実習を取り入れる。 |